

平成 19 年度

決算報告書

第 4 期

自 平成 19 年 4 月 1 日

至 平成 20 年 3 月 31 日

国立大学法人 名古屋大学

平成19年度 決算報告書

国立大学法人 名古屋大学

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算 - 予算)	備 考
収入	82,459	89,398	6,939	
運営費交付金	35,037	35,011	26	(注1)
施設整備費補助金	7,578	7,467	111	(注2)
船舶建造費補助金	0	0	0	
補助金等収入	195	955	760	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	89	89	0	
自己収入	28,998	32,566	3,568	
授業料、入学金及び検定料収入	9,306	9,226	80	(注4)
附属病院収入	19,430	22,701	3,271	(注5)
財産処分収入	0	0	0	
雑収入	262	639	377	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	6,739	10,671	3,932	(注7)
引当金取崩	21	33	12	(注8)
長期借入金収入	3,348	2,345	1,003	(注9)
貸付回収金	0	0	0	
承継剰余金	0	3	3	(注10)
旧法人承継積立金	0	0	0	
目的積立金取崩	454	258	196	(注11)
計	82,459	89,398	6,939	
支出	82,459	86,701	4,242	
業務費	55,906	57,151	1,245	
教育研究経費	38,669	34,739	3,930	(注12)
診療経費	17,237	22,412	5,175	(注13)
一般管理費	3,896	3,603	293	(注14)
施設整備費	11,015	9,901	1,114	(注15)
船舶建造費	0	0	0	
補助金等	195	955	760	(注16)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	6,739	10,397	3,658	(注17)
貸付金	0	0	0	
長期借入金償還金	4,708	4,694	14	(注18)
国立大学財務・経営センター施設費納付金	0	0	0	
計	82,459	86,701	4,242	
収入 - 支出	0	2,697	2,697	

予算と決算の差異について

(注1) 運営費交付金については、前年度繰越予定事業に係る執行計画の見直しにより、予算額に比して決算額が26百万円少額となっています。

(注2) 施設整備費補助金については、外来診療棟整備事業の一部計画変更による減額及び翌年度に繰越となったため、予算額に比して決算額が111百万円少額となっています。

(注3) 補助金等収入については、予算の段階では予定していなかった国からの補助金の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が760百万円多額となっています。

- (注4) 授業料、入学金及び検定料収入については、主に学生在籍者見込数の減や入学志願者見込数の減により、予算額に比して80百万円少額となっています。
- (注5) 附属病院収入については、継続的な患者数及び手術件数の増による増収のほか7対1看護体制の実施等により、予算額に比して決算額が3,271百万円多額となっています。
- (注6) 雑収入については、機器等使用料及び著作権及特許権収入などの増収により、予算額に比して決算額が377百万円多額となっています。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受託研究及び寄附金の受入れ増等により、予算額に比して決算額が3,932百万円多額となっています。なお、前年度からの繰越額については123百万円となっています。
- (注8) 引当金取崩については、執行計画の見直しにより、予算額に比して決算額が12百万円多額となっています。
- (注9) 長期借入金収入については、外来診療棟整備事業の一部計画変更による減額及び翌年度に繰越となったため、予算額に比して決算額が1,003百万円少額となっています。
- (注10) 承継剰余金予算の段階では予定していなかった、国からの承継剰余金の使用により、予算額に比して決算額が3百万円多額となっています。
- (注11) 目的積立金取崩については、執行計画の見直しにより、予算額に比して決算額が196百万円少額となっています。
- (注12) 教育研究経費については、経費節減のほか、目的別業務区分の見直しに伴い、附属病院診療に関わる人件費相当額を診療経費で整理することとしたため、予算額に比して決算額が3,930百万円少額となっています。
- (注13) 診療経費については、患者数等の増に伴う診療費用の増のほか、(注12)の業務区分の見直しに伴う、附属病院診療に関わる人件費相当額の増等により、予算額に比して決算額が5,175百万円多額となっています。
- (注14) 一般管理費については、経費の節減に努めたため、予算額に比して決算額が293百万円少額となっています。
- (注15) 外来診療棟整備事業の一部計画変更による減額及び翌年度に繰越となったため、予算額に比して決算額が1,114百万円少額となっています。
- (注16) (注3)に示した理由により予算額に比して決算額が760百万円多額となっています。
- (注17) (注7)に示した理由により予算額に比して決算額が3,658百万円多額となっています。
- (注18) 長期借入金償還金については、借入時期を遅らせたことにより、予算額に比して決算額が14百万円少額となっています。